

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	埼玉県西部地域振興ふれあい拠点施設
指定管理者	NeCST(ネクスト)
評価対象年度	令和2年度
施設所管課	産業労働部 産業支援課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保	A	管理の瑕疵による事故等はなく、新型コロナウイルスに対して万全の対策を実施し、安心・安全な利用を確保した。
	法令等の遵守	A	施設の法定点検業務や個人情報保護など、適切に行われた。
	平等利用の確保	A	利用許可は基準に従い、適切に行われた。
施設の設置 目的の達成	事業の実施	A	にぎわい創出を目的とする自主事業は、新型コロナウイルスの影響で多くが中止となったが、工夫をこらして安心・安全に参加できる事業を実施した。
	利用状況	A	多目的ホールの利用率・利用人数は新型コロナウイルスの影響が大きく、目標を下回った。指定管理者の責めに帰することはできない状況である。 ・利用率：目標 93.5%以上⇒実績 66.2% ・利用者数：目標 150,000人以上⇒実績 26,428人
	適切な管理の履行	A	協定書等に基づき維持管理を適切に行うとともに、感染症予防対策を適切に実施した。
	財産の適切な管理	A	建物や設備、その他の県有財産について適切な管理が行われた。
利用者サービス の向上	サービス内容の向上	A	感染予防用品の貸出、徹底した消毒の実施、利用制限の説明など、利用者が安心・安全に施設を利用できるように努めた。
	利用者の満足度	A	多目的ホール・会議室の利用者（行事主催者）のアンケートでは、「総合評価」、「事業の内容」で、80%以上の方に満足をいただいている。
総合評価		A	新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染症予防対策を万全に実施し、施設の管理運営を安全かつ適切に行った。

特記事項	特に評価すべき点	新型コロナウイルスの影響を大きく受けたが、感染症予防対策に積極的に取り組む一方、新たな手法を取り入れた自主事業の実施にも努めた。
	次年度に向けて 改善が望まれる点	新しい生活様式に沿った、地域に密着したにぎわい創出事業等を実施するとともに、開設から時間が経つにつれて多くなる補修等の維持管理を適切に行ってもらいたい。